

2022 年度小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 15 日作成)

| | | |
|------------------------------|---|---|
| 小委員会名 | 火害診断補修小委員会 | 主 査 名：近藤 史朗 就任年月：2020 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 防火委員会 | 委員長名：原田和典 |
| 設 置 期 間 | 2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月 | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>既刊の「建物の火害診断および補修・補強方法指針・同解説」(以下、指針という)に新たに蓄積された知見を盛り込んだ改定指針を 2024 年 1 月に刊行予定。それに向けた成果をシンポジウムで公表、刊行後は次への課題を抽出する。</p> <p>初年度：既往の調査法課題抽出、改訂版執筆開始、シンポジウム開催 2 年度：改定原稿を査読者に提出、査読開始 3 年度：改定版刊行、講習会実施。次への課題抽出 4 年度：次回改定に向けた活動</p> | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | <p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：近藤史朗 (清水建設) 幹事：高橋晃一郎 (大林組), 阪口明弘 (ハウスプラス確認検査), 春畑仁一 (日本建築総合試験所) 委員：池田憲一 (東京理科大学), 大橋宏和 (竹中工務店) 梅本宗宏 (戸田建設), 梶田秀幸 (前田建設工業), 馬場重彰 (大成建設), 宮本圭一 (鹿島建設), 村上行夫 (JFE スチール), 森田武 (清水建設) 山崎順二 (浅沼組), 吉田正友 (大阪工業大学), 李柱国 (山口大学)</p> | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | <p>コンクリート系 WG：RC 造部分の火害診断及び補修・補強の検討 鋼系 WG：S 造部分の火害診断及び補修・補強の検討 コンクリート調査方法 WG：RC 造部分の火害調査方法の検討</p> | |
| 2022 年度予算 | 269,000 円 | ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/bouka/ajj_bk/6/ |

| 項 目 | 自己評価 |
|---|--|
| 委員会開催数 | 10 回 (年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画 | |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | <p>目標達成度100%</p> <p>1. 改定指針原稿執筆完了予定 2. WG・小委員会内査読完了予定 3. 火災後の変状、新調査方法、新しい加熱履歴後データ、モデルケース追加</p> |
| 委員会活動の問題点 ・課題 | なし |